

■(三藐院)近衛信尹 公卿。公家社会では最高位ながら、武将覇権闘争のなかで翻弄されたが、文人として一流だった。

このえのぶただ

將軍義輝自刃1565＝

武家若狭武田氏の娘を母に、_関白近衛前久の子に生まれる。幼名明丸。

織田信長入京1568＝ 3歳：父が従兄弟の將軍足利義昭の怒りに触れて出奔したのに従い、大坂に下向。

比叡山焼討・1571＝ 6歳：父に従い河内若江に移住。

室町幕府滅亡1573＝ 8歳：父に従い丹波に移住。

長島一揆鎮圧1574＝ 9歳：

長篠の戦・・1575＝10歳：父に従い帰洛。まもなく父が織田信長の命で薩摩下向。この間、父に代わり、来訪した吉田兼見と対面。

安土城築城・1576＝11歳：新春の和歌会を主催。

安土楽市楽座1577＝12歳：信長の加冠により元服し、信基と名乗り、昇殿の後、従三位。この年、父がようやく関白復帰。

上杉謙信没・1578＝13歳：正三位。_信長に寵愛され、鷹狩に呼ばれ、馬を贈られ、戦陣に同行するなど、武家社会で育つ。

石山合戦終・1580＝15歳：_早くも内大臣と華々しく昇進。

バリエーノ謁見 1581＝16歳：_安土城での盛大な馬揃えに、自ら騎乗して勇姿を見せ、大評判となり、天覧馬揃えとなる。

本能寺の変・1582＝17歳：_信長が自刃するや、讒言された父が出家・出奔したため、近衛家当主となり、信輔と改名するも、暗転。

賤ヶ岳の戦・1583＝18歳：この年、徳川家康の豊臣秀吉への執り成しで、父(出家後龍山と号する)が帰洛。

この間、逼迫した家計の建て直しを図るべく、島津家ほかへ書状。

豊臣秀吉関白1585＝20歳：*左大臣。関白就任を願うも、秀吉が関白となり、以後、屈辱に耐えかね懊悩。

早くから能書ぶりが知られる。

秀吉全国統一1590＝25歳：*ついに、強度の神経衰弱となり、遅しい筆遣いながら異常な言上状。

文禄の役・・1592＝27歳：文禄の役になると、家を棄てて名護屋に居た秀吉に従うべく下向するも、面会でできず帰洛。途中、広島城で毛利秀元とその家臣らに揮毫して書き与える。

ルツ島通交・1594＝29歳：_京中を異形で注進し、秀吉の怒りに触れ、薩摩坊津に配流となる。唯一の文化人一乗院住持典論と交流。

関白秀次事件1595＝30歳：_秀次事件とともに、政敵今川晴季が配流となり、配所が鹿兒島になり、領地も与えられるが、

26聖人殉教・1596＝31歳：_いまだ経済的不如意のなか、赦免となり、大地震直後の京都に洪々戻ると、秀吉の大歓迎。

慶長の役・・1597＝32歳：住吉社立願和歌会を開催。

豊臣秀吉没・1598＝33歳：_禁中での法華八講では、唯一特別席。

前田利家没・1599＝34歳：_禅僧春屋宗園の茶の湯に招かれ、三藐院の号を贈られる。

関ヶ原の戦・1600＝35歳：_和歌会出席を再開。関ヶ原の戦に勝利した家康のもとに祝賀挨拶。

朱印船制始・1601＝36歳：一時病臥。*左大臣に還任するとともに、かねて申請してきた改名が正式に認められ、信尹となる。

東本願寺創建1602＝37歳：一時病臥。

_この間、秀頼母子はじめ、さまざまな人たちの依頼で、揮毫。近衛流の極致となる。

徳川家康隠居1605＝40歳：_ついに、宿願の関白詔。後陽成天皇二宮を養嗣子信尋とするなど、慶事続く。

江戸城完成・1606＝41歳：_関白を辞す。一時病臥。片桐且元の招きで、河内若江を訪れ、幼時をなつかしむ。

家康駿府退隠1607＝42歳：將軍の病氣見舞いの公卿一員として江戸に下向。隅田川河畔の寺を木母寺と改名。

この間、19歳年下の松花堂昭乗とも交流。また、絵にも抜きん出て、晩年を中心に、「人鷹像」「布袋図」など、多くの傑作を残す。

琉球使始・・1610＝45歳：

_沢庵宗彭とも昵懇で、

刊サ教禁止・1612＝47歳：_「詠歌大概音義」を著し贈られる。父が死去し、母は出家して宝樹院と号すると、

支倉常長渡欧1613＝48歳：_遺書をしたため、

大坂冬の陣・1614＝49歳：_没した。